

令和6年度 米子市立山陰歴史館事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 建物及び設備、備品管理など

- (1) 日々の目視確認を行い、管理記録を適切に記録・保管し、建物及び設備、備品の維持管理に努めた。
- (2) 日常の館内外清掃及び除草作業を行い、敷地内全体が清潔に保たれるよう努めた。
- (3) 雨漏り箇所に職員が防水シートや自作の排水装置を設置し対策を講じた。
- (4) 展示室の蛍光灯安定器が経年劣化により故障していた箇所を職員で取替え、より見やすい展示環境とした。
- (5) 日本博物館協会より受贈した車いすを配置し、利用者にとって快適な環境を整えた。

2 市民サービスの向上及び運営

- (1) 鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館の相互割引を実施した。
- (2) 寄贈資料の問合せに迅速に対応し、寄贈受入・記録、目録作成・登録を順次行った。
- (3) 企画展開催時に図録を刊行した。
- (4) 企画展開催期間中は祝日の翌日の休館日を開館日とすることで、来場者の利便性を図り利用促進に努めた。
- (5) 館蔵品の貸出・利用許可等について、個人情報保護等に配慮しながらスムーズかつ迅速に対応した。
- (6) 他の財団施設と連携し「米子市文化財団カルチャー・フェスティバル 2024」や「米子歴史絵巻」、米子城跡三の丸番所での展示を実施し、国史跡米子城跡の魅力を広く発信した。
- (7) 弓浜緋保存会や鳥取県と共催で市内外の小学校・専門学校やインバウンドを対象とした「弓浜緋」の製作体験を実施した。また、鳥取県立公文書館・倉吉博物館と共催で、鳥取県の緋に関する講演会を実施し、伝統工芸を知ってもらう機会とした。
- (8) 館蔵資料を活用し、市内商業施設と共催で「弓浜緋の歴史展」を実施し、普段、館に訪れることのない層にも郷土の伝統工芸の歴史を知ってもらう機会とした。
- (9) 実行委員会やわらべ館・米子市公会堂と共催で、米子市出身の作曲家、高木東六の生誕120年記念事業を実施し、その功労を顕彰した。
- (10) 常設展示「米子城の歴史」コーナーのキャプションすべてに英訳版を加え、インバウンドの来館者にもより分かりやすく展示を観覧してもらえるよう改善した。

2 事業の実施状況

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
鑑賞事業			
常設展 米子城関連資料、 米子の農家の昔の暮らし、 昭和の小学校、昔の道具、大山の歴史、 人形作家安部朱美氏制作「御幸(御興行幸)」、鉄道関係資料、古代からのメッセージ、国史跡指定記念尾高城資料 常設展示ほか	通 年	20,622	米子の近世から現代までの歴史と民俗について展示する他、米子城関係と鉄道関係資料、米子市内の遺跡の調査報告や出土品、国史跡指定を記念した尾高城関係資料を展示した。
企画展 「～米子の近・現代を映す～ 広告いろいろ展」	4月14日(日) ～ 6月9日(日)	619	米子市周辺の商店を中心に引札やチラシ、ビラなどの広告を展示し、米子の近代の商業や世情について紹介した。
共催展 企画展「第17回池田家墓所 写真コンクール作品展示」 主催：公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会	6月22日(土) ～ 7月21日(日)	442	鳥取藩主池田家の歴史や墓所の写真を紹介した。
館蔵品展 企画展「昔のあそび展 －あそびの中の学び－」	8月4日(日) ～ 10月14日 (月・祝)	1,739	双六を中心に絵本や紙芝居、玩具を展示した。
企画展 「いつもはしまっている民具展2024 －民具でたどる郷土の暮らし－」	10月27日(日) ～ 1月13日 (月・祝)	720	郷土の暮らしや産業を支えてきた民具や、それに関連する写真や資料を展示し、その歴史を紹介した。
連携事業			
【新規】 そこにある絶景 米子城フォトギャラリーⅡ 共催：米子市文化ホール 協力：鳥取大学医学部附属病院	5月7日(火) ～31日(金)		鳥取大学医学部附属病院で、四季折々の米子城絶景シーンの写真を展示する他、同病院に設置してある米子城ジオラマや米子城VRなどについて紹介した。 会場：鳥取大学医学部附属病院1階展示スペース
【新規】 絶景の城 米子城フォト展Ⅱ 共催：米子市文化ホール	8月10日(土) ～29日(木)		米子市立図書館で、四季折々の米子城絶景シーンの写真を展示する他、米子城関連商品などについて紹介した。 会場：米子市立図書館2階ギャラリー
企画展 「再発見資料 －ガラス乾板に記録された戦前の米子－」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	1月26日(日) ～ 3月30日(日)	2,313	米子市日野町でタムラ写真館を運営していた故千村廣三郎氏が写した、昭和17年刊行の『米子市史』掲載写真など、貴重な戦前の米子市内の写真を中心に展示した。

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
【新規】 城下町を探検しよう 共催：米子市児童文化センター、 米子市埋蔵文化財センター	5月25日(土)	4	小学3年生～中学生を対象に、米子城城下町のガイドウォークを実施した。 会場：米子市児童文化センター、米子城城下町
【新規】 高木東六生誕120年記念 「朗読とピアノ・歌でつづる 高木東六パリ留学日記」 共催：実行委員会、米子市公会堂、わらべ館	9月1日(日)	517	「水色のワルツ」などの作品で知られる米子市出身の作曲家、高木東六の生誕120年を記念し、顕彰事業として朗読とピアノ、歌唱の演奏会を開催した。 会場：米子市公会堂大ホール
【新規】 考古学者になろう 共催：米子市児童文化センター、 米子市埋蔵文化財センター	8月3日(土)	22	小学生を対象に、出土品に触れる他、石包丁などの古代の道具を作製する体験事業を実施した。 会場：米子市児童文化センター
米子歴史絵巻 ～能楽の夕べ～ 共催：米子市公会堂、米子市、 米子市教育委員会	9月23日 (月・祝)	220	米子市と連携し、米子城 魅せる!プロジェクト2024事業として、米子城跡にて屋外特設ステージでの夜間の能楽特別公演を実施した。 会場：国史跡米子城跡三の丸駐車場
【新規】 アートな散歩 ～中心市街地を巡る～ 共催：米子市美術館、米子市公会堂	10月14日 (月・祝)	22	昭和33年に開館した日本を代表する建築家、村野藤吾によるグランドピアノをモチーフとしたデザインで日本の公共建築百選にも選ばれている米子市公会堂など、中心市街地にある歴史的建築物やアートなどを巡った。(米子市美術館 ミュージアムスクール/フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク1「尾高城跡」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	6月22日(土)	(11)	市内の史跡を解説付きで案内した。 (フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク2「尾高城下町」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	11月16日(土)	(7)	
史跡ガイドウォーク3「米子城下町」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	12月21日(土) 3月15日(土) 悪天候のため延期	(13)	
史跡ガイドウォーク4「米子城跡」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	3月22日(土)	(21)	

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
わたを育てよう ～身近な植物とおともだちになろう～ 第4回「わたが布になるまで」 共催：米子市児童文化センター	11月23日 (土・祝)	13	米子市児童文化センターと連携し、館蔵資料を活用し事業を行った。
第54回米子盆踊り大会・ 米子市公会堂夏祭り 主催：米子市、米子市公会堂	8月14日(水)	(900)	第54回米子盆踊り大会の開催に協力すると共に、米子市公会堂夏祭りに輪投げコーナーを出展した。 会場：米子市公会堂前庭・ホワイエ 協力：米子市児童文化センター、米子市埋蔵文化財センター
【新規】 旧米子町役場復元プロジェクト 連携：鳥取市歴史博物館、あおや郷土館	3月	-	鳥取市歴史博物館、あおや郷土館と連携で「旧米子町役場復元プロジェクト」を企画し、3館の所蔵資料や調査結果を活用して旧米子町役場の模型制作を実施し、広く郷土の歴史に関する情報発信の機会とした。
教育普及事業			
第51回郷土の歴史教室 「能楽見ち知るべ」 主催：米子錦ライオンズクラブ 共催：米子市、米子市教育委員会、米子市児童文化センター	2月24日 (月・祝)	30	京都から能楽師を講師に招き能楽のワークショップを行った。 講師：橋本光史（重要無形文化財保持者）、河村和貴（重要無形文化財保持者）、橋本充基 会場：米子市児童文化センター 協力：米子市伯耆古代の丘公園、米子市埋蔵文化センター
民話のへや 共催：ほうき民話の会	通 年	145	地方に残る方言で語られる昔話を楽しむ機会とした。(奇数月開催) 学芸員が歴史館資料や調査資料の解説を行った。
学校・公民館対応など	20回	(781)	市内小学校8校、市内中学校1校、市内高等学校2校、市内専門学校1校、市外小学校3校、南部町教育委員会、湯梨浜町中央公民館、安来市内公民館、鳥取聾学校ひまわり分校、荒木コミュニティセンター
学校等への出前講座	6回	(244)	啓成小学校3年生、福生西小学校3年生、福米西小学校3年生、尚徳公民館、大篠津いきいきサロン、観音寺公民館さんさん会
館内体験学習・学芸員研修受入	4回	(4)	職場体験1件/1人・学芸員研修3件/3人
財団施設連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2024 「もっと知りたい！米子城」	9月16日 (月・祝)	フェス全体 (2,155) 478	当財団が管理・受託している各施設が集まり、特色を活かしたワークショップ等を実施した。歴史館は米子市文化ホール、米子市埋蔵文化財センターと合同ブースで「もっと知りたい！米子城」と題し米子城VR体験や米子城跡の出土品や写真展示を行った。 会場：米子市公会堂

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
館蔵品展企画展「昔のあそび展 ―あそびの中の学び―」関連事業 「ぶんぶんゴマをつくろう！/ 昔のすごろくであそぼう」	8月28日(水) 9月28日(土)	18	館蔵品展企画展関連事業を実施した。 会場：米子市立図書館2階第3研修室、米子市立山陰歴史館2階館長室
企画展「いつもはしまっている民具展2024 ―民具でたどる郷土の暮らし―」関連事業 絣制作体験 協力：弓浜絣保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	11月16日(土)	8	企画展関連事業として、種繰り・糸繰り・機織り体験を実施した。 会場：米子市立図書館1階第1展示室
【新規】機織り体験 主催：弓浜絣保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	11月6日(水)	13	鳥取県指定無形文化財「弓浜絣」の保持団体である弓浜絣保存会が講師となり、デンマークからの観光客を対象に機織り体験を実施した。
ふるさと未来創造工房 本物に触れる！ ～無形文化財保持者による子どものための制作体験～ 主催：鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課	11月15日(金) 11月21日(木)	67	鳥取県指定無形文化財「弓浜絣」の保持団体である弓浜絣保存会を講師に迎え、小学生が伝統工芸の制作に挑戦した。
YMCA米子医療福祉専門学校生 「機織り体験」 主催：弓浜絣保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	11月27日(水)	10	鳥取県指定無形文化財「弓浜絣」の保持団体である弓浜絣保存会が講師となり、機織り体験を実施した。
【新規】 令和6年度新鳥取県史を学ぶ講座 「鳥取県の絣-倉吉と弓浜-」 主催：鳥取県立公文書館 共催：倉吉博物館	2月1日(土)	100	倉吉絣と弓浜絣に関わる講演会を共催した。 講師：関本明子（倉吉博物館主幹学芸員）、 当館山本副館長 会場：倉吉交流プラザ
資料の保存・活用事業			
資料の調査・整理・研究・保管	通 年	-	資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。資料の目録作成を行った。
資料貸出	通 年	-	博物館、関係機関等に資料の貸出を行った。 26件/150点
鳥取県史編さん事業 古文書解読ボランティア月例会 主催：鳥取県立博物館	通 年	106	鳥取県立博物館古文書資料解読の事業支援を行った。 会場：旧庁舎604会議室

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
情報提供事業			
問い合わせ対応	通 年	-	米子市史などの問い合わせに対応し、情報の提供を行った。
歴史館だよりの発行	通 年	-	歴史館の展示情報などを提供した。
ホームページ・Xの更新	通 年	-	歴史・資料の紹介やイベント情報の提供などを行った。
友の会の運営 「米子市歴史館友の会バス研修」 共催：米子市歴史館友の会	11月22日(金)	17	鳥取市歴史博物館、青谷かみじち史跡公園、小川氏庭園を巡る研修ツアーを実施した。
Nゲージ展示運転および操作体験 協力：鉄道の街米子「米子の鉄市」 実行委員会	23回	323	「鉄道の街米子」にちなみ、中国地方の鉄道車両やかつて米子市内を走っていた法勝寺電車、皆生電車の車両等のNゲージを走らせる体験コーナーを設けた。
第6回弓浜緋の歴史展 -花尽くし- 主催：弓浜緋保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	2月19日(水) ～25日(火)	-	山陰歴史館所蔵資料を展示し、郷土の伝統工芸「弓浜緋」の歴史や情報を提供した。 会場：JU米子高島屋1階特設会場
図書等販売			
企画展図録の発行など	通 年	-	委託図書・図録・紀要などの販売を行い収入の一助とした。
受託事業			
皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務 企画展「春の訪れと雛人形展」	[令和6年 3月16日(土)] ～5月6日 (月・祝)	1,644	皆生温泉素鳳ふるさと館において、素鳳コレクションの展示業務を行った。 ※左記入場者数は令和6年4・5月分のみ 会期中の合計観覧者数2,940人
皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務 企画展「春を待つお雛さま」	2月6日(木) ～5月6日 (火・祝)	2,334	皆生温泉素鳳ふるさと館において、素鳳コレクションの展示業務を行った。 ※左記入場者数は令和7年2・3月分のみ
連携・受託事業			
米子城跡三の丸番所展示 連携：米子市文化ホール	通年展示 展示替5回	-	米子城跡に新たに整備された「三の丸番所」ガイダンススペースに、米子城跡の写真や城下町に関する情報をまとめたパネルを展示。季節にあわせ展示替を行った。
入場者・参加者合計(人)		32,546	()の人数は除く

3 施設の利用状況

開館日数 308日

企画展開催日数 265日

入場者・参加者数 32,546人（館外展示観覧者数を含む）

4 収入実績

項 目		収入額（円）
事業収入	観覧料	456,700
	冊子などの収入	5,400
	図書等販売収入	720,700
	図書等売捌手数料	327,220
	資料利用料	2,100
	負担金収入	154,539
雑収入		10,980
合 計		1,677,639